

ステイヤーズステークス

イギリス長距離血統。
地方の砂長距離血統に相性の良いレース。

本命はディバインフォース。

昨年本命にした際にも書いたようにイギリス G1 血統が強いレース

複数回の坂越えで体力を消耗しない馬力が問われるため。

今年も出走馬の中で父がイギリス G1 を勝っているのは同馬のみ。

リピーターが走っているのも当レースのみに適した出走馬が少ないから。

昨年同様、近走は上がり上位を連発して届かない競馬を続ける臨戦過程。

相手妙味はバスビアナイト、ナムラカミカゼ。

バスビアナイトは 2019 年 11 番人気 3 着エイシンクリックや
4 度馬券になったトウカイトリックと同じく好相性の
ミスプロ系×欧州型の組み合わせ。

母系にリボー、リヴァーマン。馬力は超一流の牝系。
近親にはマリアライト、クリソベリル、アロンダイト。
タフな芝での G1 馬。ダート長距離での G1 馬を出す一族。

ナムラカミカゼはダート中長距離とタフな芝長距離歓迎のキズナ産駒の牡馬。
近親にダート中距離 G1 連対のナムラアラシ。
使い込んで良化し、ダート長距離にも強い村山厩舎の管理馬。
ダート長距離指向の当レース向き。

チャレンジカップ

阪神芝 2000m 重賞は父と母父がサンデー系と
米国型の組み合わせに相性が良く、2200m 以上適性よりは
1800m 以下適性が問われやすい。

ところが、チャレンジカップはスタミナ、欧州指向の馬が毎年馬券に。

例年は頭数が揃わなく、ゆるい流れになることが主な原因。

今年の場合は、14 頭立て。

前走逃げた馬も複数。

ペースは流れて、マイル指向、米国指向のレースになりそう。

今年の出走馬でマイルの OP クラスを勝った

実績があるのはレッドベルオーブとエアファンディタの 2 頭。

本命はエアファンディタ。

父ハットトリック、母父エンパイアメーカー。

サンデー系と米国型の組み合わせ。

池添学厩舎は芝馬の場合直線長いコーナー 2 つよりも

直線短いコーナー 4 つ以上の方が好成績。

コーナー 4 つで内枠の出走は今回が初めてですが、

実はベスト条件で自己最高パフォーマンスを発揮する可能性を秘めます。

レッドベルオーブもマイル実績馬。

父と母父がサンデー系と米国型の組み合わせ。